

トイレに求められる役割の変化と工事の最新動向を事例で紹介【役割・衛生編】

トイレ工事は、執務エリアに比べ、設備配管から電気、内装と工事種類が多い割に施工規模（スペース）が小さいために複数業者が同時に施工しづらい、という難しさがあります。

しかし、トイレは、**企業における職場環境改善・従業員のモチベーションアップに見逃せないポイント**であることに加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、**感染症対策においても見直されている分野**です。

野原ホールディングス株式会社の Reconext カンパニーは、**トイレ工事に最適な少数精鋭のチーム編成と施工管理力を強みに**、複雑な要望にも応える対応力で、非住宅分野のトイレに関わる多様な施工実績を重ねています。今回は、社会の変化とともに変わりゆくトイレの役割や感染症対策の具体例を紹介します。

｜トイレに求められる役割の変化

企業や施設のイメージを対外的に表現する場所へ

新型コロナウイルス感染症予防に配慮した、キレイで清潔、安心・安全なトイレは、企業や施設の訪問者へのおもてなしと対外的なイメージアップにつながります。

以下の事例では、減少する学生確保に向けて大学のイメージアップを図るため、大学施設内のトイレ環境を見直すお手伝いをしました。

- ・女子トイレに化粧直しのスペース（パウダールーム）を新設（弊社はパウダーカウンターのブースパネルを取付）
- ・男子・女子トイレの個室トイレブースの改修



■大学（2006年/神奈川県伊勢原市）改修後のトイレ
左：女子トイレのパウダールーム 中央：個室トイレ（女子） 右：男子トイレ

社員のモチベーションアップと職場環境改善の要へ

オフィス内のトイレは、見た目、機能、設置数、広さなど多岐にわたりますが、従業員が利用する際にストレスを感じない場所であることが重要です。

社員のモチベーションに影響する場所の1位に「トイレ・化粧室」が挙げられた統計結果もあります。

https://jp.toto.com/company/press/2019/03/20_008499.htm

リコネクストカンパニーは、テナント企業が共用部のトイレでは数が足りず、専有部内に自社専用トイレを増設する工事を請け負ったこともあります（2017年東京都港区）。テナントビルの専有部にトイレを新設するのは稀ですが、ビル管理会社とも連携しながら、お客様に大変ご満足いただくことができました。



■テナントビル共有部のトイレ数が不足し、専有部にトイレを新設した事例（2017年/東京都港区）
左：女子トイレ、中央：個室トイレ（男女）、右：男子トイレ

| 感染症対策に非接触設備のご提案

リコネクストカンパニーは、野原グループの数あるお取引メーカーとのネットワークを活かし、コストを抑えながらも、お客さまの感染症対策に最適な設備をご提案します。

自動水栓、オートソープディスペンサー

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、非接触の自動水栓とオートソープディスペンサーによる衛生管理、感染予防対策が必要な時代となりました。綺麗なトイレに改修すると同時に、自動水栓やオートソープディスペンサーの設置をおすすめします。

参考

- ・自動水栓とは、センサーに手をかざすだけで水が出る水栓です。自動で止水するので、従来は、水の出しっ放しを防ぎ、節水効果を目的に導入されてきました。

- ・オートソープディスペンサーとは、センサー感知により泡タイプのハンドソープが自動で一定量吐出される非接触の手洗い補助装置です。従来は、ハンドソープの使い過ぎやいたずら防止を目的に導入されてきました。



■商業施設内のトイレでの設置例（2010年）

ウイルス対策扉など

個室トイレ扉の取手（錠前等の金物）や帽子掛など、直接手に触れざるを得ないものも、抗ウイルス（製品上の特定ウイルスの数を減少させること）加工を施すことで、より効果的な感染症対策が期待できます。

弊社では、壁や床などの建材も、SIAA マーク（抗菌製品技術協議会が認定する、抗ウイルス・抗菌加工製品の認証マーク）を取得した抗ウイルス製品の使用を推奨しています。

* SIAA マーク、抗ウイルス加工製品については、以下の URL を参照願います。

<https://www.kohkin.net/antivirus.html>

| お問合せ先

Reconext カンパニー

TEL : 03-3355-1760

FAX : 03-3355-1724

E-Mail : renovation@nohara-inc.co.jp

以上

作成：2021年7月16日
野原ホールディングス株式会社
Reconext カンパニー